



取付説明書

16cm セパレート2ウェイトレードインスピーカシステム

SGS-1670S

取付説明書：090003-29610700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となる場合があります。本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。「取付説明書」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

もくじ

取り付ける前に

構成部品	2
安全に正しくお使いいただくために	3

接続について

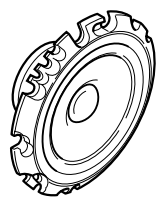
接続例	5
接続方法	7

取り付けについて

スピーカの取り付け	8
トゥイーター及びネットワークの取り付け	11
配線に関する注意事項	15
ギボシ端子の接続方法	16

構成部品

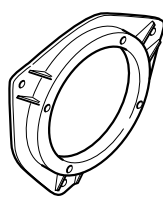
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。



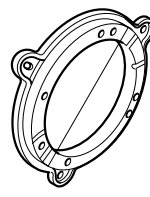
① スピーカ (R)
× 1



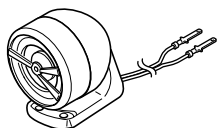
② スピーカ (L)
× 1



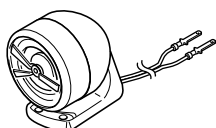
③ スペーサ (トヨタ車用)
× 2



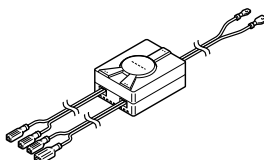
④ スペーサ (日産車用)
× 2



⑤ トゥイーター (R)
× 1



⑥ トゥイーター (L)
× 1



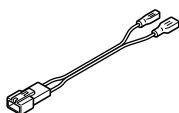
⑦ ネットワーク
× 2



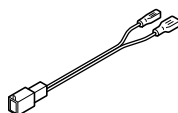
⑧ トゥイーターブラケット
× 2



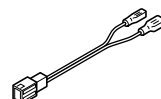
⑨ 両面テープ
× 2



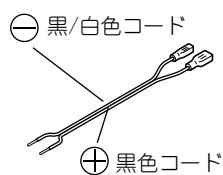
⑩ 接続変換コード
(トヨタ車用) × 2



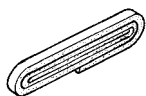
⑪ 接続変換コード
(日産車用) × 2



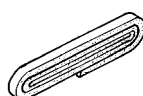
⑫ 接続変換コード
(ホンダ車用) × 2



⑬ 接続変換コード
× 2



⑭ クッション
(白色ハクリ紙色) × 2



⑮ クッション
(黄色ハクリ紙色) × 2



⑯ タッピングスクリュー
(φ 6 × 20) × 8



⑰ タッピングスクリュー
(φ 5 × 16) × 8



⑱ タッピングスクリュー
(φ 4 × 16) × 8



⑲ スクリュー
(M4 × 25) × 6



⑳ 平座金 (φ 4用)
× 8



㉑ タッピングスクリュー
(φ 3 × 14) × 8



㉒ ギボシ端子 (オス)
× 8



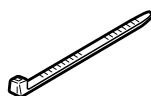
㉓ ギボシ端子 (メス)
× 8



㉔ ギボシスリーブ (オス用)
× 8



㉕ ギボシスリーブ (メス用)
× 8



㉖ バンドクランプ
× 4



㉗ 両面テープ
(ネットワーク取付用) × 2



㉘ 両面テープ
(トゥイーター取付用) × 2



㉙ スピードナット
× 4

⚠ 注意

取り付け作業の際にスピーカを裏向き（コーン紙部を下向き）に伏せて置いたり、コーン紙部に手を触れる、ツイータ部を持つなどするとスピーカが壊れる恐れがあります。ご注意ください。

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと



警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V 車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- スピーカ端子が車両部品、ボデー等と干渉や接触しないように取り付ける。事故・火災・感電の原因となります。

注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

接続例

⚠ 警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

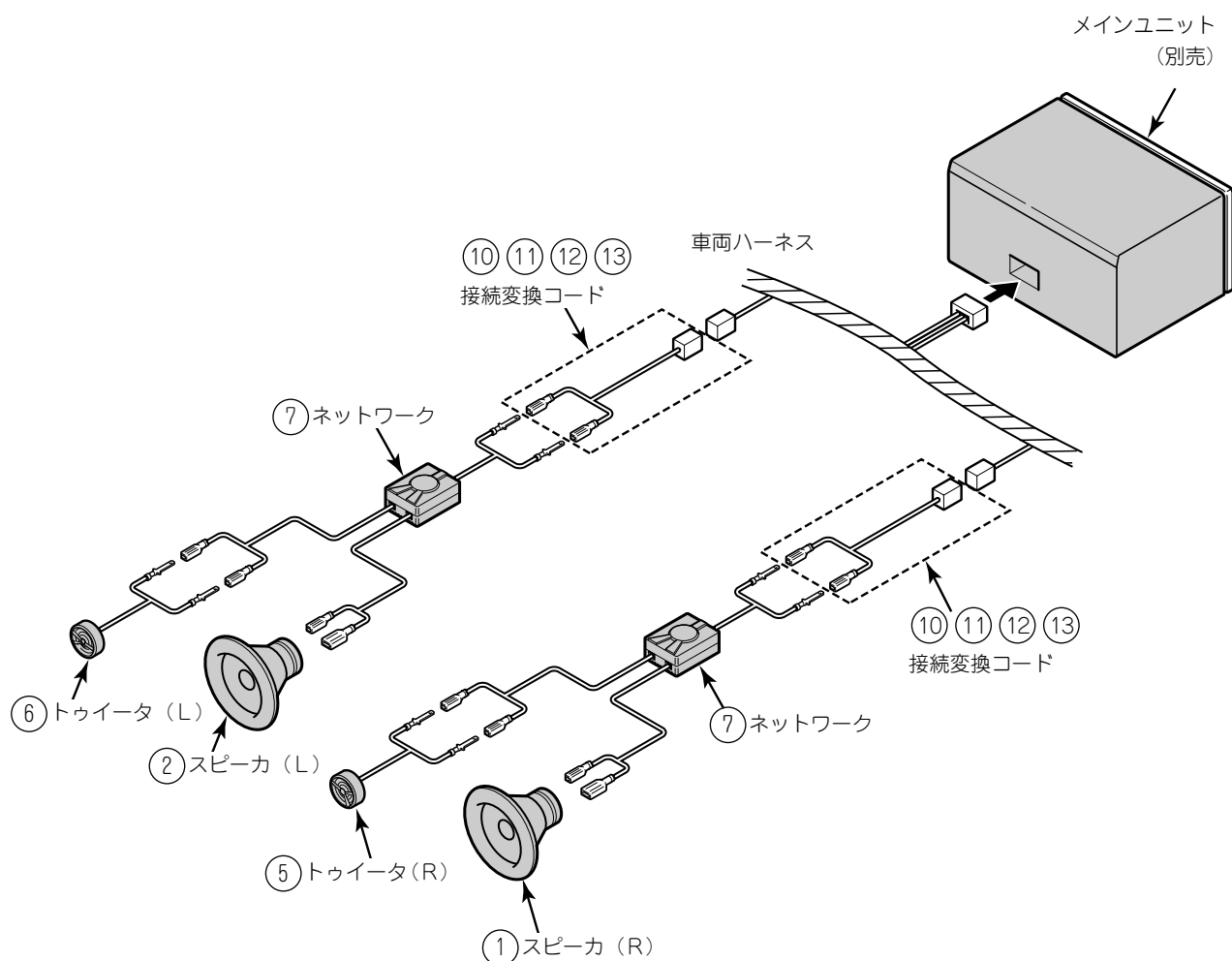
👉 アドバイス

- メインユニットに接続する前にスピーカの取付及び配線を行ってください。
- 機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず、接続するメインユニットの取付要領書を参照してください。

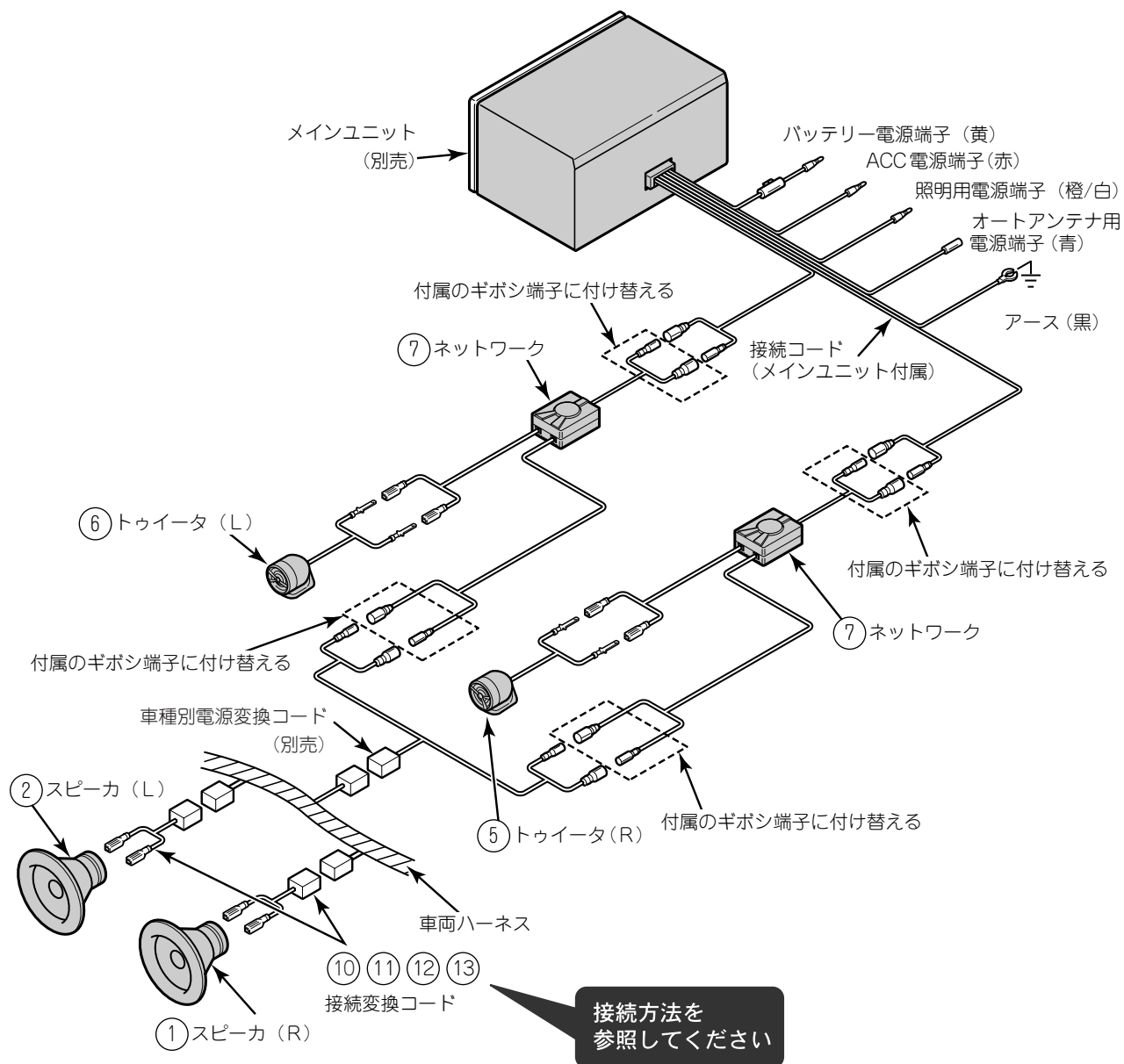
ー トウイータをドアに取り付ける場合ー

👉 アドバイス

トウイータをドアに取り付ける場合は、ネットワークをドアの内部に取り付けます。(P.14 参照)

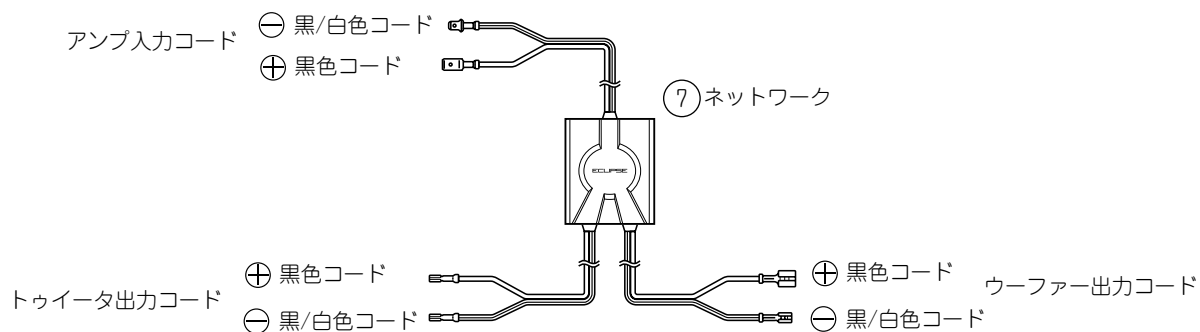


ートウイータをダッシュボードに取り付ける場合ー



👉 アドバイス

ネットワークコードを接続する際は、メインユニットの極性及び車種別電源変換コードの極性を確認し、正しく合わせて間違わないように接続してください。



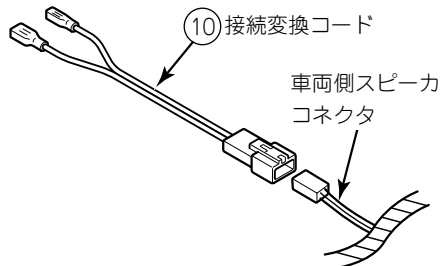
接続方法

付属の接続変換コードが車両側スピーカコネクタと接続できる場合

- 1 付属の接続変換コードを使用してスピーカまたはネットワークの入力端子（AMP）に接続する。

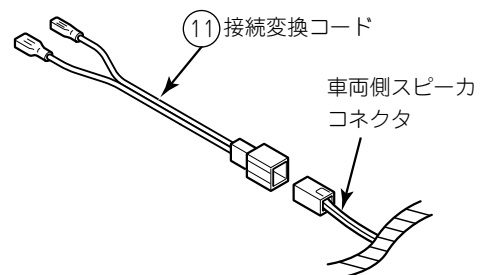
トヨタ車の場合

スピーカまたは
ネットワークの入力端子（AMP）へ



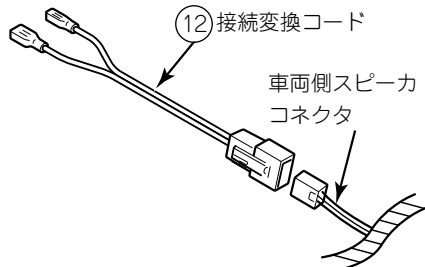
日産車の場合

スピーカまたは
ネットワークの入力端子（AMP）へ



ホンダ車の場合

スピーカまたは
ネットワークの入力端子（AMP）へ



付属の接続変換コードが車両側スピーカコネクタと接続できない場合

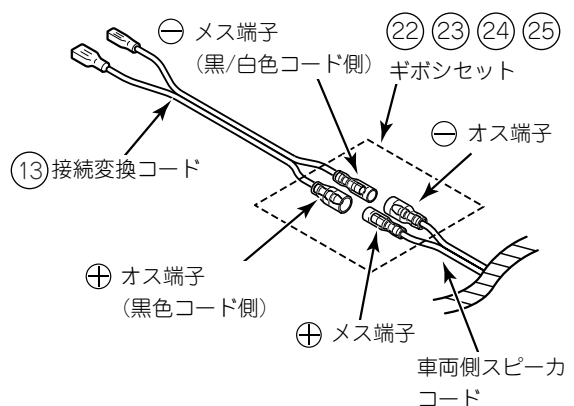
- 1 接続変換コードと車両側スピーカコードをギボシ端子に付け替えてスピーカまたはネットワークの入力端子（AMP）に接続する。



アドバイス

ギボシ端子の接続方法については、P.16を参照してください。

スピーカまたは
ネットワークの入力端子（AMP）へ



スピーカの取り付け

取り付け上のご注意

⚠ 警告

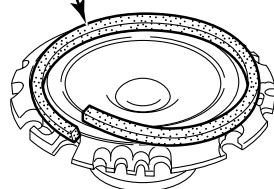
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 本体の取付けは、必ず付属のネジを使用して確実に固定して下さい。

👉 アドバイス

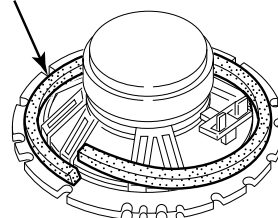
スピーカ表面にクッション（白色ハクリ紙側）を、スピーカ裏面の外周面にクッション（黄色ハクリ紙側）を貼り付け、使用する取付ねじ穴（4ヶ所）のクッション部をカッター等で切り取ってください。

※防振や防水の為、必ずクッションを貼り付けてください。

⑭クッション（白色ハクリ紙側）



⑮クッション（黄色ハクリ紙側）



—取り付け例（ドアへの取り付け）—

スピーカの取付穴と車両側の取付穴が一致する場合

- 1 ドアトリム、既設スピーカ等を取り外す。
- 2 スピーカを車側（既設スピーカ取付部）に取り付ける。

👉 アドバイス

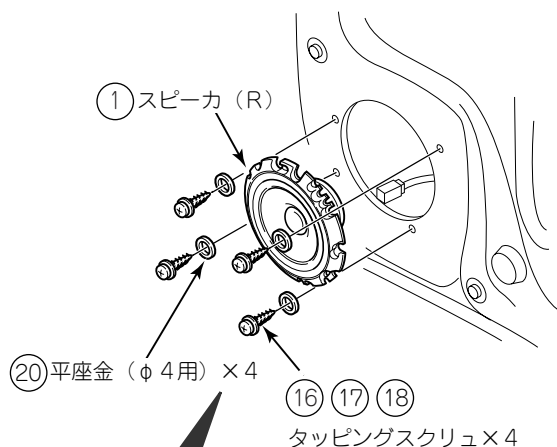
※1
車種により使用するスクリュが異なりますので、車側に合ういずれかのスクリュを使用してください。

※2
平座金は、タッピングスクリュ（φ4×16）
⑮を使用する場合にのみ使用してください。

- 3 取り外した部品を元通りに復元する。

👉 アドバイス

スピーカの取付作業は、右側を表しています。
左側も同様に作業を行ってください。



👉 アドバイス ※2

👉 アドバイス ※1

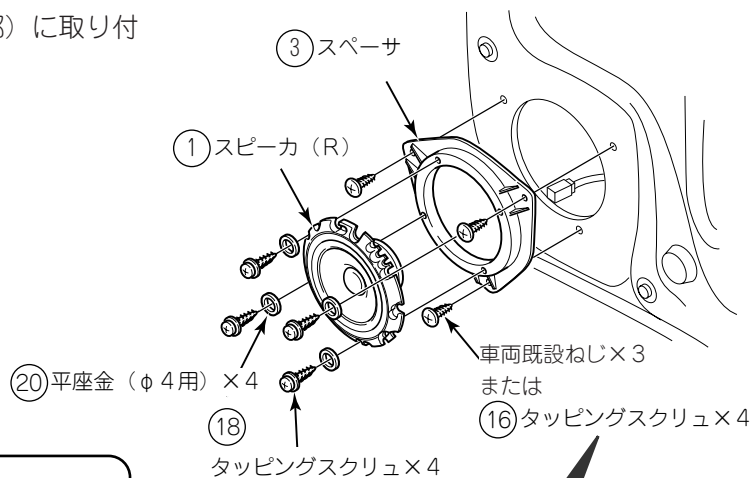
スピーカの取付穴と車両側の取付穴が一致しない場合

- 1 ドアトリム、既設スピーカ等を取り外す。
- 2 スペーサを車側（既設スピーカ取付部）に取り付ける。
- 3 スピーカをスペーサに取り付ける。
- 4 取り外した部品を元通りに復元する。

👉 アドバイス

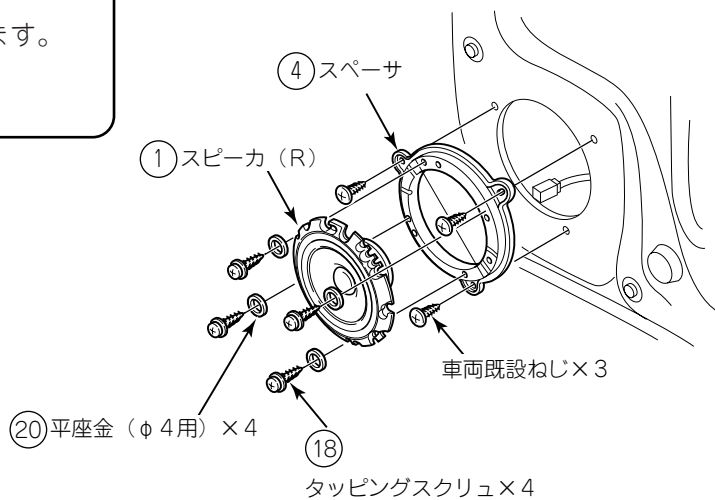
- ※1
リベットで取り付けられている場合は、リベットを取り外し、タッピングスクリュ（φ6×20）
⑬を使用して取り付けてください。
- ※2
スピーカの取付作業は、右側を表しています。
左側も同様に作業を行ってください。

一トヨタ車の場合ー



👉 アドバイス ※1

一日産車の場合ー



—取り付け例（リヤトレイへの取り付け）—

- 1 リヤトレイ、既設スピーカ等を取り外す。
- 2 スピーカを車側（既設スピーカ取付部）に取り付ける。

 アドバイス

※ 1

車種により使用するスクリュが異なりますので、車側に合ういずれかのスクリュを使用してください。

※ 2

平座金は、タッピングスクリュ（φ 4 × 16）
⑮を使用する場合にのみ使用してください。

- 5 取り外した部品を元通りに復元する。

 アドバイス

スピーカの取付作業は、右側を表しています。
左側も同様に作業を行ってください。

 アドバイス ※ 1



 アドバイス ※ 2

トゥイータ及びネットワークの取り付け

取り付け上のご注意

⚠ 警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 可動部（サンバイザー・エアバッグ部等）へ取り付けない。事故やケガの原因となります。

👉 アドバイス

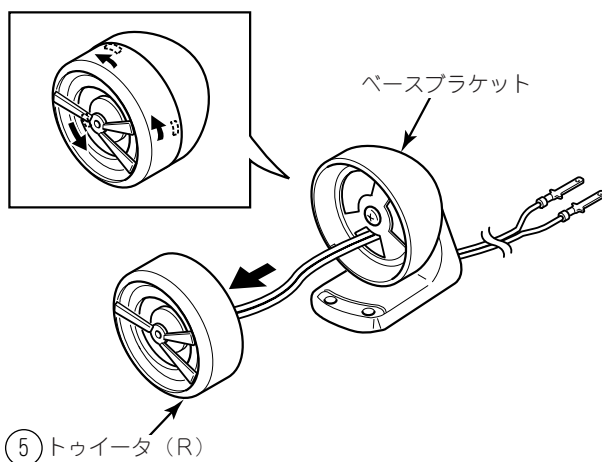
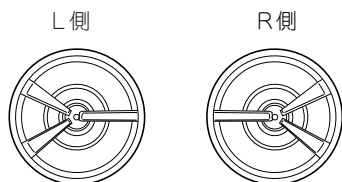
- トゥイータは、ドアトリム、ダッシュボード、リヤトレイ等に取り付けてください。
- エアバッグ、フロントガラス、リヤガラス等と干渉しない位置に取付位置を決めてください。

ートゥイータの取り付け例（ダッシュボードに取り付ける場合）ー

- 1 トゥイータをベースブラケットから取り外す。

👉 アドバイス

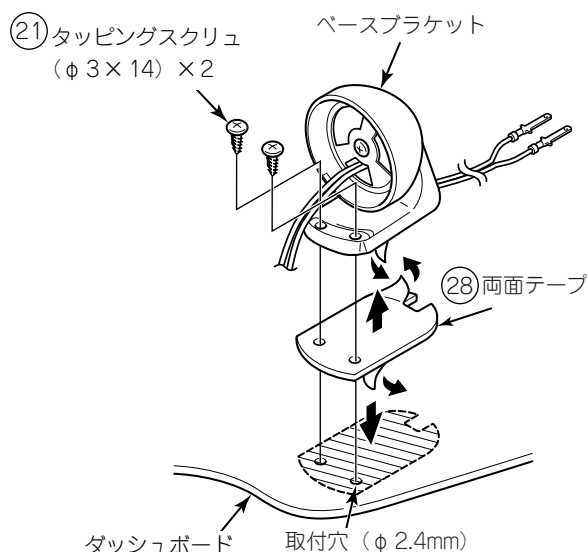
トゥイータの（L）、（R）を確認してください。



- 2 トゥイータの取付位置を決め、取付穴をマーキングする。
- 3 ドリル等で取付穴をあける。
- 4 両面テープのハクリ紙をはがし、ベースブラケットの底面に貼り付ける。
- 5 両面テープのハクリ紙をはがし、ベースブラケットをダッシュボードに貼り付ける。
- 6 ベースブラケットをタッピングスクリューで固定する。

👉 アドバイス

トゥイータの取付作業は、右側を表しています。左側も同様に作業を行ってください。

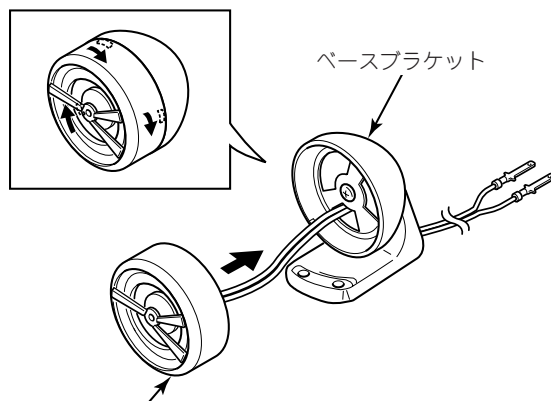


- 7 ベースブラケットにトゥイータを取り付ける。

 アドバイス

- トゥイータの溝に合わせて確実に固定してください。
- トゥイータの取付作業は、右側を表しています。左側も同様に作業を行ってください。

トゥイータの溝に合わせて
回転させ固定する。



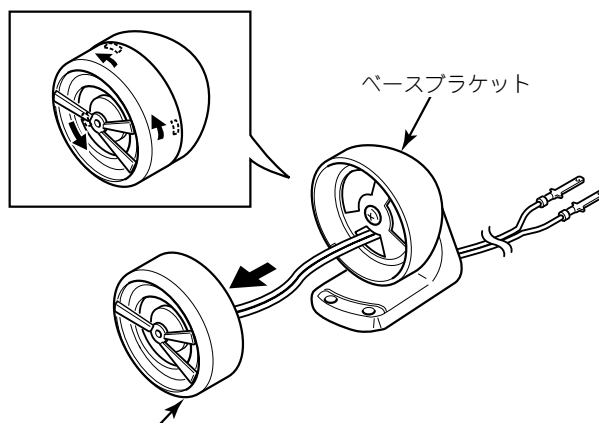
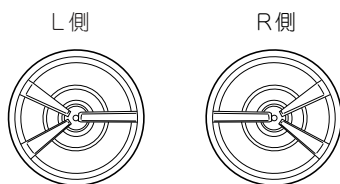
⑤ トゥイータ (R)

— トゥイータの取り付け例（ドアに取り付ける場合） —

- 1 トゥイータをベースブラケットから取り外す。

 アドバイス

トゥイータの（L）、（R）を確認してください。

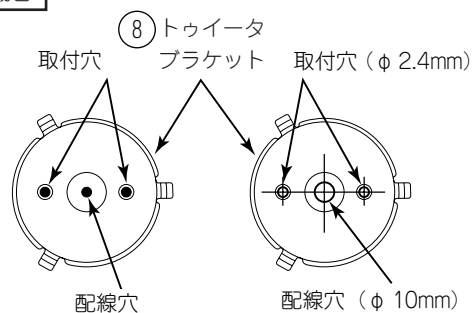


⑤ トゥイータ (R)

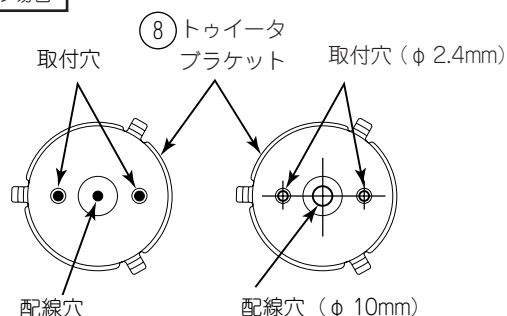
- 2 トゥイータの取付位置を決め、トゥイータブラケットを使用し、取付穴をマーキングする。

- 3 ドリル等で取付穴をあける。

R側の場合



L側の場合



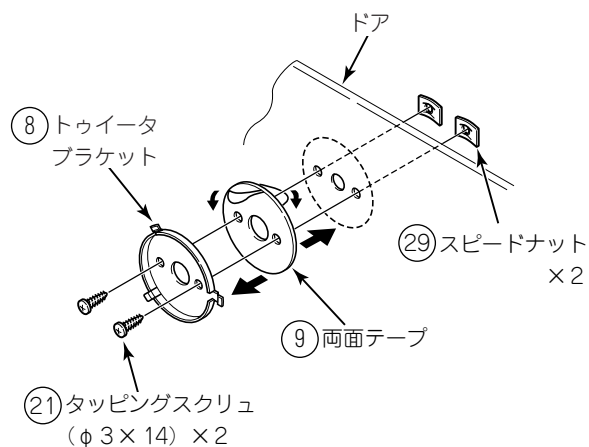
4 トゥイータの取付位置を決め、トゥイータブラケットを使用し、取付穴をマーキングする。

5 ドリル等で取付穴をあける。



アドバイス

トゥイータの取付作業は、右側を表しています。
左側も同様に作業を行ってください。



6 トゥイータコードを配線穴に挿入し、配線する。

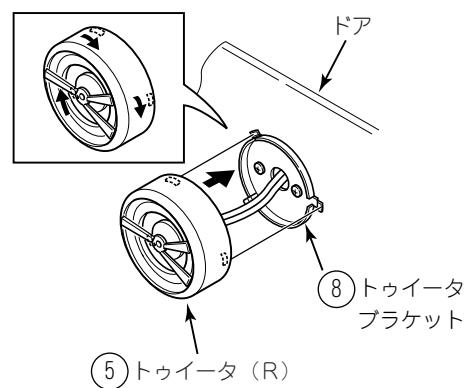
7 トゥイータをトゥイータブラケットに取り付ける。



アドバイス

- トゥイータの溝に合わせて確実に固定してください。
- トゥイータの取付作業は、右側を表しています。左側も同様に作業を行ってください。

トゥイータの溝に合わせて
回転させ固定する。



ーネットワークの取り付け例 (トウイータをダッシュボードに取り付ける場合)ー

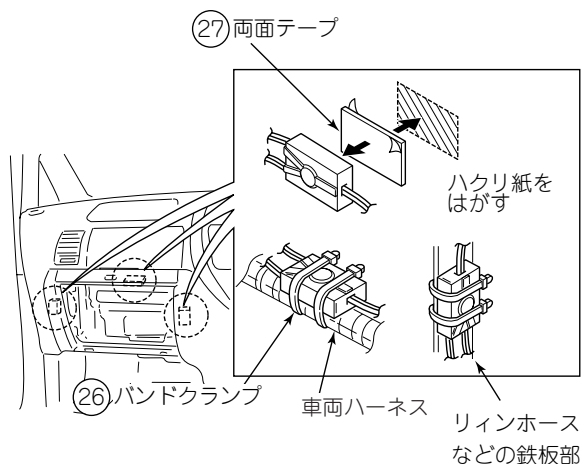
- 1 ネットワークをバンドクランプまたは両面テープで車両に固定する

⚠ 注意

異音や運転操作の妨げにならないようにしっかりと固定してください。

👉 アドバイス

- 車両樹脂部分に固定する際は、両面テープを使用してください。
- 車両ハーネスまたは鉄板部分に固定する際は、バンドクランプを使用してください。



ーネットワークの取り付け例 (トウイータをドアに取り付ける場合)ー

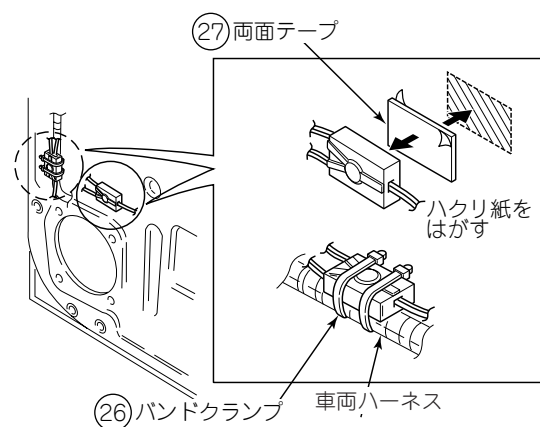
- 1 ネットワークをバンドクランプまたは両面テープで車両に固定する

⚠ 注意

- 異音や運転操作の妨げにならないようにしっかりと固定してください。
- ドアガラス開閉時に干渉しないように注意してください。
- 水を避けて配線してください。

👉 アドバイス

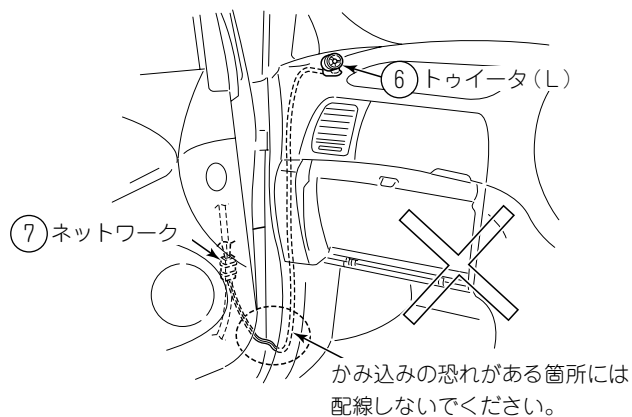
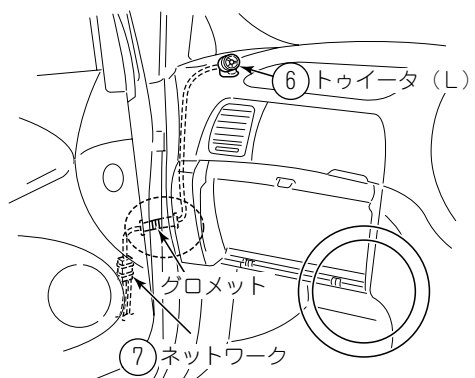
- 車両樹脂部分に固定する際は、両面テープを使用してください。
- 車両ハーネスに固定する際は、バンドクランプを使用してください。



配線に関する注意事項

⚠ 注意

トゥイータとネットワークを接続する際、バックドアの開閉時にコードのかみ込みがある場所には、配線しないでください。



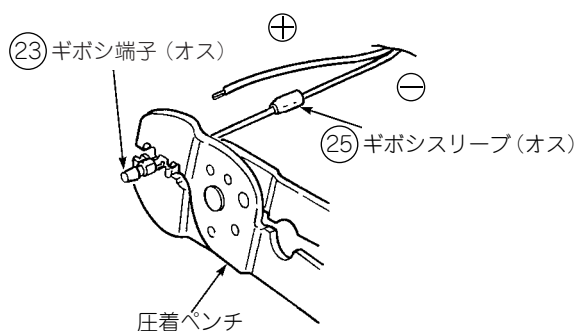
ギボシ端子の接続方法

出力側のコードを加工する場合

- 1 コードの⊖側にギボシオススリーブを挿入する。
- 2 ⊖側にギボシオス端子を圧着ペンチでかしめ、スリーブを装着する。
- 3 同様にコードの⊕側にギボシメススリーブを挿入しギボシメス端子を圧着ペンチでかしめ、スリーブを装着する。

👉 アドバイス

コードの⊖側にギボシオス端子、⊕側にギボシメス端子を間違わないように取り付けてください。



入力側のコードを加工する場合

- 1 コードの⊕側にギボシオススリーブを挿入する。
- 2 ⊕側にギボシオス端子を圧着ペンチでかしめ、スリーブを装着する。
- 3 同様にコードの⊖側にギボシメススリーブを挿入しギボシメス端子を圧着ペンチでかしめ、スリーブを装着する。

👉 アドバイス

コードの⊕側にギボシオス端子、⊖側にギボシメス端子を間違わないように取り付けてください。

